

令和元年度第3回宇都宮市民大学運営協議会

日 時 令和元年11月29日（金）
午後3時～

会 場 人材かがやきセンター研修室
（中央生涯学習センター5階）

次 第

1 開 会

2 議 題

（1）令和元年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について・・・資料1

（2）令和2年度宇都宮市民大学講座企画・運営ボランティアスタッフ

企画講座の決定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

3 そ の 他

・令和2年度宇都宮市民大学開講式及び公開期講座の実施について・・・資料3

4 閉 会

宇都宮市民大学運営協議会委員名簿

任期：宇都宮市民大学運営協議会運営要領第4条の規定による期間
(平成30年9月1日～令和2年8月31日)

令和元年6月1日現在

No.	氏名	所属団体等役職
1	阿部 好子	宇都宮大学 広報・地域連携室長
2	江田 壮一	宇都宮短期大学 事務局長
3	おおやま 真一	宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ
4	かわしま やすお	株式会社栃木放送 報道制作局長
◎	かわもと 清	帝京大学 宇都宮キャンパス 事務長
6	こばやし じろう	株式会社 下野新聞社 編集局総務部長
◇	こばり きょうこ	とちぎボランティアNPOセンターぽぽら コーディネートリーダー
○	しまだ しばお	宇都宮市民大学講座企画運営選考委員 宇都宮メディア・アーツ専門学校 校長
◇	のなか まさとも	公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 事務局長
10	はせがわ きょうこ	宇都宮市中央生涯学習センター利用団体代表

(五十音順)

◎ 会長 ○ 副会長 ◇ 監事

令和元年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について

1 合同開講式・公開講座

(1) 開催日時

令和元年10月25日(金) 午後2時～午後4時

(2) 会場

宇都宮市立南図書館 サザンクロスホール

(3) 参加者数

125名(出席率 38.4%)

(4) 合同開講式

ア 実施内容

- ・ 主催者挨拶 宇都宮市教育員会事務局 教育長 小堀 茂雄
宇都宮大学地域創生推進機構 副機構長 中村 真 氏
- ・ 来賓挨拶 宇都宮市生涯学習センター運営審議会 副委員長 西田 直樹 氏
- ・ 受講者証交付 宇都宮市教育委員会事務局教育長より受講者代表2名へ交付

イ 受講者の感想・意見(抜粋)

- ・ 貴重なおごそかな式で感謝します。
- ・ 専門講座等の企画者による、主旨や展開のアピールもあったらいいのではないかと。
- ・ ご出席いただく皆様の貴重な時間を割いてまで実施する意義があるとは思えない。

ウ 評価

受講者のアンケートでは、7割以上が「とても意義があった」「どちらかといえど意義があった」と評価している。

⇒ **別紙1**参照

合同開講式は受講者が一堂に会する唯一の機会であり、学びの仲間存在を強く認識できる場であることなどから、受講者満足度に繋がったものと考察される。また、合同開講式参加により、学ぶ姿勢や意欲がより向上したという意見も見受けられ、受講者の学習意欲の高揚につながったと考察される。

(5) 公開講座

ア 実施内容

- ・ 講 師 杉田 昭栄 氏 (宇都宮大学 名誉教授)
- ・ テ ー マ あそびの天才 道具を使う天才 「鳥」
～くろの羽装につつまれた能力～
- ・ 講義内容 古典や文化でのカラスの位置づけに始まり、遊びや道具の使用など世界で見られるカラスの知的な行動や、脳科学など医学的な知見も踏まえて、身近にいる「鳥」について考える。

イ 受講者の感想・意見

- ・ 普段聞かないジャンルの話で、面白かった。
- ・ 今日のカラスは嫌われ者に思われるが、「ヤタガラス」のように尊ばれたカラスもいる。古代の人は、なぜカラスを神としたのか、考えるのも良かった。
- ・ 鳥の能力生体を知ることができた。特に実験の結果が興味深かった。非常にカラスが好きではない先生と感じた。
- ・ 邪魔物扱いされ、うるさく鳴くと不吉なことが起こると嫌われる鳥だが、杉田先生より様々な切り口から鳥の生態や歴史等々をご教授いただき大変勉強になるとともに、より一層鳥について調べてみようと思った。
- ・ 資料のシートが多すぎて、講師の話についていくのが大変だった。
- ・ 参考になる話だったので、メモが出来るテーブル付きの会場が良かった。

ウ 評価

- ・ 受講者アンケートでは、「とても良かった」「どちらかといえば良かった」との意見が8割以上と、満足度の高い講座であった。
⇒ 別紙1参照
- ・ 受講によって「カラスの見方が変わった、親しみを持てるようになった」とのポジティブな感想を持った人が多数見受けられた。
- ・ 講師が準備した様々な分野・多数の写真による資料と解説があり、「興味深かった」「面白かった」との意見が多数あった。専門的で限定的な内容を扱ったにも関わらず、「つまらない」「分かりにくい」との否定的な意見はほとんど見られなかった。
- ・ また、講師が受講者にクイズを出したり休憩時間に軽いストレッチを促したりするなど、コミュニケーションを図ったことも、高い満足度に繋がったものと考察される。
- ・ 専門講座にカラスの生態等を扱う講座があり、それを「楽しみにする気持ちがさらに増した」との意見が複数あった。

2 専門講座

No.	【講座コース】 講座名 (開講数)	講 師	開催期間	(募集定員) [応募者数] 受講決定数
1	【郷土を愛する地域・文化・歴史コース】 国際的文化人・円仁をはぐくんだ “しもつけ”の風土を考える (全7回)	國學院大學栃木短期大学 教授 酒寄 雅志 氏 准教授 中村 耕作 氏 日本考古学協会 小森 哲也 氏 栃木県考古学会 顧問 竹澤 謙 氏	11/1～ 12/20	(60) [77] 77
2	【今を読み解く現代社会コース】 〔宇都宮大学連携講座〕 カラスを知る ～カラスの生理・生態と 最新カラス研究の紹介～ (全8回)	宇都宮大学 バイオサイエンス教育研究センター 特任助教 塚原 直樹 氏	10/31～ 12/19	(30) [36] 36
3	【今を読み解く現代社会コース】 気象で読み解く日本の歴史 ～異常気象との攻防1400年～ (全7回)	日本気象予報士会 東京支部長 気象予報士 田家(たんげ) 康 氏	11/2～ 12/21	(40) [47] 47
4	【今を読み解く現代社会コース】 〔栃木県立衛生福祉大学連携講座〕 人生100年時代を健康に生きよう！ ～日々のケアで健康に、 いざというときにも備えて～ (全7回)	栃木県立衛生福祉大学校 校長兼歯科技術学部長 青山 旬 氏 歯科技術学部歯科技工学科 教授 清水 一成 氏 助教授 神谷 幸子 氏 助教授 木村 明子 氏 臨床検査学部臨床検査学科 教授 岡本 その子 氏 臨床検査学部 主幹兼部長 奥山 啓子 氏	11/5～ 12/3	(40) [30] 30
5	【暮らしを彩る教養コース】 歴史を美貌で振り回した女性たち！ ～波乱万丈の生涯に学ぶ～ (全6回)	栃木県立博物館 学芸部長 江田 郁夫 氏 学芸員 山本 享史(たかし) 氏 國學院大學栃木短期大学 教授 菱沼 一憲 氏	10/28～ 12/9	(60) [110] 85
6	【暮らしを彩る教養コース】 近世都市「江戸」の歴史 ～東京の礎となった江戸の歴史を知る～ (全7回)	宇都宮大学教育学部 准教授 高山 慶子氏	11/12～ 12/17	(60) [105] 85
合 計			(募集定員) [応募者数] 受講決定数	(290) [405] 360

令和元年度宇都宮市民大学後期合同開講式・公開講座実施報告



◇開催日時:令和元年10月25日(金) 午後2時～午後4時
 ◇開催場所:宇都宮市立南図書館 サザンクロスホール
 ◇受講者数:125名
 ◇アンケート回収数: 79名(63.20%)
 ◇出席来賓:2名
 ◇出席主催者:13名
 ◇運営スタッフ:11名

受講者について(全体)		区分	人数	割合
(1) 年齢 	1 20歳未満	0	0%	
	2 20代	0	0%	
	3 30代	0	0%	
	4 40代	0	0%	
	5 50代	2	3%	
	6 60代	35	44%	
	7 70代	36	46%	
	8 80歳以上	5	6%	
	無回答	1	1%	
合計	79	100%		
(2) 性別 	区分	人数	割合	
	1 男性	47	59%	
	2 女性	25	32%	
	無回答	7	9%	
合計	79	100%		
(3) 公開講座と専門講座 	区分	人数	割合	
	1 公開講座のみ受講	8	10%	
	2 公開講座と専門講座を受講	70	89%	
	無回答	1	1%	
合計	79	100%		
アンケート結果 合同開講式について 	区分	人数	割合	
	1 とても意義がありよかった	25	32%	
	2 どちらかといえば意義があった	36	46%	
	3 どちらかといえば意義があるとはいえない	9	11%	
	4 意義があるとはいえない	2	3%	
	無回答	7	9%	
合計	79	100%		
公開講座について 	区分	人数	割合	
	1 とてもよかった	40	37%	
	2 どちらかといえばよかった	51	47%	
	3 どちらかといえばよくなかった	9	8%	
	4 よくなかった	3	3%	
	無回答	5	5%	
合計	108	100%		

令和 2 年度宇都宮市民大学 V スタッフ企画講座の決定について

1 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会の開催状況

- (1) 開催日 令和元年 11 月 6 日 (水)
 (2) 場 所 人材かがやきセンター研修室
 (3) 審査方法 企画者によるプレゼンテーションの審査
 (4) 選考数 9 講座 (3 コース)

【参考】

コース	内 容
I 郷土を愛する 地域・文化・歴史コース	地域の歴史や文化、産業、自然、民俗など地域の特質を学び、郷土に誇りや愛着をもつための講座
II 今を読み解く 現代社会コース	個人や社会を取り巻く環境がめまぐるしく変化する現代社会において、より賢く快適に暮らしていくため、社会の流れを読み解き、暮らしや地域コミュニティに活かしていく知恵を学ぶ講座
III 暮らしを彩る 教養コース	芸術・文学・科学のほか、先進技術など広範で学術的なテーマから深い教養を身に付け、潤いのある生活を送るための講座

2 選考結果

コース別選定状況は別紙「令和元年度宇都宮市民大学講座企画選考委員会選考結果一覧表」のとおり。

※ II 今を読み解く現代社会コースにおいて、選考された企画がなかったことから、大学連携や事務局企画において、積極的に II 今を読み解く現代社会コースの企画を行う。

※ V スタッフ企画前期 5 企画のところ選考 4 企画、後期 4 企画のところ選考 5 企画だったことから、実施時期については選考された企画者と調整を行う。

令和元年度宇都宮市民大学講座企画選考委員会選考結果一覧表

(令和2年度実施 講座企画・運営ボランティアスタッフ企画運営専門講座 9講座)

コース	番号	講座名	ねらい	時期※	企画者	得点	全体順位	委員コメント
I 郷土を愛する地域・文化・歴史	1	大谷石のことをもっと知ろう ～石の街「うつのみや」であるために～	宇都宮市内に点在する貴重な大谷石の建築物の保存や、地域資産である大谷石を活用するための取り組みなどについて、知っているようで知らない宇都宮特産の大谷石を学ぶことで、郷土に対する誇りを再認識することをねらいとする。	後期	グループ「縁」	178	1	・宇都宮の今を捉え郷土愛につながる効果が見込める。 ・大谷石に関する魅力や価値の再認識につながることを期待できる。
	2	名城に名将有り！下野の古城 ～館から城郭へ、 中世の城の役割を学んでみませんか？～	中世の下野の南部・中央部・北部の地域に分け、特に国・県・市で指定された史跡等の貴重な城跡を中心にその時代に活躍した名将と名城を検証することで郷土の歴史や特徴、文化を見直すことをねらいとする。	前期	宙(そら)	163	6	・城ブームでもあり、興味をそそる講座になると思う。 ・城は残っているものの、城郭は残ってないので、そこを工夫してほしい。
	3	天皇家と栃木県民と自然 ～栃木県の自然を愛される歴代天皇のお姿～	明治以降、歴代天皇が愛された豊かな自然に恵まれている栃木県を、平成から令和に変わるこの時に振り返ることで、あらためて郷土の魅力を学び郷土愛を醸成することをねらいとする。	後期	宙(そら)	162	7	・新天皇が即位した時期でもあり、さらに天皇家に関心が高まる中タイムリーな企画。 ・栃木県と天皇家の関わりを網羅している点は評価できるが、発展性が望めない。
	4	陶芸の世界 ～笠間焼・益子焼を極める～	笠間焼とその流れをくむ益子焼のルーツを明らかにし、その両者の歴史や現状を学び、焼き物の実用性のみならず北関東における民藝・芸術としての価値を再認識し、笠間焼・益子焼の将来を展望することをねらいとする。	後期	大山真一	160	8	・講座名が実体を表していない。もっと工夫すると良い。 ・笠間・益子焼から栃木県を知ることにつながるが、教養コースが妥当と考える。
	5	鬼怒川物語 ～宇都宮を流れる鬼怒川の昔と今～	宇都宮の歴史シリーズ(大嶽浩良講師)として、今回は川をテーマに企画した。宇都宮の東部を流れる鬼怒川について、自然と人がどう共存して今日までの歴史を綴ったかを学び、今後の生活に活かすことをねらいとする。	前期★	ともしび	172	5	・市民にとって、なじみ深い母なる川「鬼怒川」の歴史を辿ることは興味深い。 ・鬼怒川から宇都宮を考える視点はおもしろい。台風19号の記憶が残る中発展性も見込める。
II 現代社会を今解く	1	人生100年時代を自分らしく ～元気な今考えること～	平均寿命が大幅に更新される中、相続法の改正など私たちに突き付けられた課題を、人生最後を締めくくりにあたりどう解決することが望ましいのかを専門家から学び、自ら対処出来る手法を獲得することをねらいとする。	後期★	ともしび	156	10	・身近な問題であるが講師の選定が難しいと思われる。 ・各生涯学習センターで同様の取組がなされている。有料講座とする工夫が必要だ。
III 暮らしを彩る教養	1	仏像に いやされて ～分かりやすい仏像の見方～	仏像シリーズを長年企画し続けてきたことで、専門的になり知識は深まったが、今回は初心に帰り、仏像に親愛の情が感じられるような基本的な仏像の見方について学び、豊かな人生に寄与することをねらいとする。	前期★	ともしび	173	4	・仏像は人気があり継続して取り上げているが、初心者と継続しての受講者が混在しているところが難しいのでは。 ・これまで同様受講後の自主活動へ繋がることは期待できる。
	2	「古代日本と渤海の国際交流」を考える	中国東北地方(698～926年)に存在した渤海国。日本から外交使節が渡る一方、渤海からも来日しており菅原道真らがもてなすなど高いレベルの友好関係があった歴史は思いのほか知られていないことから未知のことを学ぶ楽しさを知ることをねらいとする。	後期★	ともしび	142	12	・なじみのないテーマ渤海と日本の関係性がどうなのか、興味をそそる。 ・「満州」と「渤海」が混合されたている点が気になる。
	3	信長・秀吉・家康 ～戦国三大カリスマの知られざる実像～	三人の天下人の実像を、歴史に関わる新たな資料の発見を基に、戦国の世から天下統一までの正しい歴史像を知るとともに、天下人と東国との関係を学ぶことで、歴史の楽しさ・面白さを感じることをねらいとする。	前期★	大山真一	178	1	・誰もが知る人物を取り上げ、内面にスポットをあてるなど、より専門性を高めている。 ・これまで数多く取り上げてきたテーマであり、集客の期待はどうか。
	4	不朽の名作には秘密がいっぱい ～あなたの知らない西洋美術の世界～	明治以降、油絵などさまざまな西洋絵画が日本に伝わった。それらを描いた画家の生涯とその作品をとりあげ、西洋絵画をより多くの視点から再認識し、新たな発見を楽しみながら学ぶことをねらいとする。	後期	宙(そら)	178	1	・タイトル倒れにならず、内容が伴えば面白い企画になると思う。 ・最近、この分野の書籍が多く出版されているが、差別化が図れるか工夫が必要だ。
	5	再入門！ たのしい科学 ～予想し実験で確かめる！ あなたも科学者になれる～	物理の最も基本である、「力と運動」を分かり易く学ぶほか宇宙に話題を広げ、目に見えない原子・分子の世界を実験や模型を作ることで、だれにも楽しく理解することに気づき、身の回りのさまざまな現象を体験することをねらいとする。	後期	みやの塾	158	9	・難しい科学を楽しく学べる講座を期待する。 ・受講者の成果を家族や地域に生かすことが期待できるが、講座準備が懸念される。
	6	「本」を楽しむ ～多彩で広大な本の世界を学ぶ～	読書を含め「本」の多彩な世界を学び楽しみながら人生をより健康で豊かにする本を学び、教養を高め脳の活性化を図り、更には認知症の予防などに寄与することをねらいとする。	前期	ジャンプ	143	11	・よく考えられた企画だが、テーマが拡散しすぎではないか。 ・専門的であるが、講師の調整、利用ニーズなどに不安がある。

「審査項目」と「審査基準」

(プレゼンテーション審査マニュアルより抜粋)

審査項目は、下表のとおりとする。

1 審査項目

(1)	社会ニーズ	社会の変化や要請，地域の特性や文化など，本市のまちづくりやコミュニティの発展，あるいは市民の郷土理解に資する社会的な視点やねらいが盛り込まれているか。
(2)	市民ニーズ	市民が求める高度で専門的な学習ニーズをとらえているか。
(3)	構成力	設定された講座のねらいに沿った各回の展開や組み立てがされているか，また実習やワークショップなど，学習効果を高めるための工夫がされているか。
(4)	運営力	適切な講師の想定，事前準備や講座運営に対する考え方など，確実に講座を運営していくための体制が整っているか。 <u>ただし，企画応募条件において，講師の確保までは求めないこととしているため，想定講師の受諾については審査に加味しない。</u>
(5)	発展性	講座を契機とするネットワークの形成，学んだことを実践し，生かせる仕組みづくりや導入，リーダー養成に資するスキルの習得など，受講者の行動や考え方の変化を促す効果があるか。

2 審査基準

点数	審査基準
5	とても優れている
4	優れている
3	やや優れている
2	やや劣っている
1	劣っている

宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会委員名簿

任期：宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会運営要領第4条の規定による期間
(平成30年9月1日～令和2年8月31日)

令和元年10月30日現在

No.	氏名	所属団体等役職
○ 1	こだち ちゆうじ 小太刀 忠治	宇都宮共和大学 事務局長
2	さとう ひでお 佐藤 英雄	株式会社 エフエム栃木 常務取締役業務推進本部長
◎ 3	しまだ しげお 島田 繁雄	宇都宮市民大学運営協議会委員 宇都宮メディア・アーツ専門学校 校長
4	たかだ げん 高田 玄	栃木県教育委員会事務局 河内教育事務所 ふれあい学習課長
5	堀川 祐司	株式会社 とちぎテレビ 取締役放送本部長・報道制作局長
6	まるやま じゅんいち 丸山 純一	文星芸術大学 美術学部 教授
7	やまだ たかのり 山田 卓徳	作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 事務局長
8	ますぶち しげこ 増渕 重子	宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課 課長
9	まつもと くにお 松本 邦夫	宇都宮市教育委員会 中央生涯学習センター 所長
10	はせがわ ひでこ 長谷川 英子	宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課 人材かがやきセンター 地域教育指導員

(No 1～7：五十音順)

◎ 委員長 ○ 副委員長

令和2年度宇都宮市民大学開講式及び公開講座について

◎ 趣 旨

令和2年度以降の宇都宮市民大学専門講座開講式と公開講座の新たな実施方法につき報告するもの

1 開講式

- ・各専門講座の初回冒頭10分程度で開講式を行う。
- ・開講式の中で、「学長メッセージ」DVD（2分程度）を放映する。

2 公開講座

(1) 実施時期

令和3年2月 土日などの休日

(2) 会場

市文化会館など、駐車場や交通機関が確保でき、多くの受講者を収容できるホール等を会場とする。

(3) 実施内容

各分野の第一人者（著名人等）による講義等とする。

(講師案)

- ・磯田道史（日本史家）
- ・小和田哲男（歴史学者）
- ・山中伸弥（京都大学 iPS 細胞研究所所長・教授）

※ 謝金 30～50万円程度を想定

(4) 受講料

- ・有料（講師謝金により調整）
- ・公開講座受講者のみから徴収

宇都宮市民大学公開講座実施要領（案）

（趣旨）

第1条 この要領は、宇都宮市民大学学則第13条に基づき実施する公開講座について、必要な事項を定めるものとする。

（目的）

第2条 多くの市民が一堂に会した学習や交流の機会を提供することにより、受講者の学習意欲の高揚を図るとともに、市民大学の周知、受講促進を図ることを目的とする。

（実施回数）

第3条 年1回実施する。

（実施場所）

第4条 宇都宮市内の公共施設等で実施する。

（受講料）

第5条 受講料は有料とする。

（公開講座の内容及び講師）

第6条 生涯学習に対する社会の要請や、市が推進する地域教育の理念を踏まえ、社会的関心や今日的課題に対応した講座内容及び講師を選定する。

（交流の場の創出）

第7条 受講者及び関係団体等が相互に交流し、更なる学習や活動の機会へとつながる場の創出に努めるものとする。

（補則）

第8条 この要領に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この要領は、令和2年4月1日から施行する。